



# かわしま

mail:y3kawash@edu.city.yokohama.jp

http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kawashima/

学校だより 春休み号  
平成 24 年 3 月 23 日  
横浜市立川島小学校  
校長 小池 慎一  
TEL 3 7 1-0 7 5 7  
FAX 3 8 1-7 2 4 8

## ゆめ い 夢をもって生きてゆこう

学校長 小池 慎一

3月17日(土)に、78名の卒業生一人ひとりに卒業証書を手渡し、卒業証書授与式を無事終えることができました。多くの保護者のみなさま、そして地域のみなさまに見守られて、一人ひとり背筋の伸びた、堂々と胸を張った精一杯の姿を見せてくれました。

式当日を迎える数日前、卒業生が書いた卒業文集を読んでいたなら、川島小学校6年間の「思い出」がたくさん書かれていたと思いますが、「夢」についても多く触れられていました。

その夢には、「宇宙でジャンプしてみたい。」とか「世界一周したい。」という夢らしい夢を思い描いている人もいましたし、「困っている人を助けたり支えたりできるから、看護師に…。」「水がこわい子や泳げない子をイルカみたいに泳げるようにしてあげたいから、水泳のコーチに…。」というように、誰かの役に立つということを、理由としてはっきりと持っている人もいました。「戦争などで生活が苦しくなった人たちが、みんなと同じように暮らして笑顔になって幸せになり、緑豊かな世界にしたい。」というように、「夢」というよりも「志」と言えるような考えを持っている人もいました。なかなかしつかりした考えをもっているのだなあと感じながら、卒業文集を読みました。

そんな中で、「小学校を卒業するのにあたって、これからは、自分で道を切りひらいていこうと思います。将来は夢であふれていて、まだ決められません。決めなくていいと思います。今、自分にできることをがんばって、これからも未来を見つめながら生きていこうと思います。」と書いている人がいました。私は、この人も書いているように、未来を見つめながら、その時持っている夢の実現のために、自分ができる力を精一杯出して努力すること、夢をじつとじつと自分の思いとして、思い続けることが、一番大切なことだと思うのです。

そして、これからもそんな子どもたちを育てていきたい、そう思いました。

さて、明日から春休みです。この春休みは他の長期休業期間とは少し意味合いが異なります。新しい学年に進級するという期待をふくらませる時期である反面、ある種の不安を感じる時期でもあります。各担任からも指導を行なっていますが、ご家庭でもこうした点をふまえて、これまでの学校生活で身につけてきたことを一つひとつ整理し、新しい学年への進級に備えるようにしていただけたらと思います。

1年間本校の教育活動に対して、ご理解とご協力をいただいたことに厚くお礼申し上げますとともに、来年度も引き続きご支援いただきますようお願い申し上げます。